

## 主権者教育の推進に関する有識者会議（第1回） 議事要旨

### 1 日時

平成29年1月27日（月）15:00～17:00

### 2 場所

総務省5階 選挙部会議室

### 3 出席者

（委員）佐々木座長、安達委員、小倉委員、小島委員、高橋委員、  
林委員、原田委員、松本委員、渡辺委員  
（総務省）大泉選挙部長、高橋管理課長、小谷選挙管理官  
（文部科学省）土肥青少年教育課長、大内教育官

### 4 議事要旨

○ 座長挨拶の後、総務省及び文部科学省から資料説明を行った。

○ 各委員から意見発表の後、全体での意見交換を行った

（主な意見）

- ・ 今回の18歳、19歳の投票は、教育等の努力が実り、社会全体で気運が高められた結果として、一定の評価ができる。
- ・ 18歳と19歳の投票率に差があることについては、今回18歳に焦点が当たってしまったこと、住民票異動の問題、不在者投票の認知不足などが影響したのではないか。
- ・ 主権者教育は、政治や選挙について知識を理解させるだけでなく、話し合い等を通じて、意思決定につながる取組が重要。
- ・ 問題を身近なことから考えることが大切であり、地域課題を題材にすることは有効。
- ・ 学校が外部団体を活用することは、生徒の興味を得る有効な取組。